第４章　資料

１　学校防災計画作成関係資料

（1）地震発生後約６分で津波が到達する地域の対応マニュアル（例）・・ P78

（2）地震発生後に津波の恐れがない地域の対応マニュアル（例）・・・・ P80

（3）防災対策委員会編成表(例)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P82

（4）学校防災予防管理組織表(例)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P82

（5）学校災害対策配備計画（例）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P83

（6）自主点検検査チェック票（日常）（例）・・・・・・・・・・・・・ P84

（7）自主点検検査チェック票（定期）（例）・・・・・・・・・・・・・ P85

（8）アクションカード「学級担任」(例)・・・・・・・・・・・・・・・ P86

（9）災害発生時緊急報告用紙（様式１）・・・・ ・・・・・・・・・・・ P87

（10）災害発生時緊急報告用紙（様式２）・・・・・・・・・・・・・・・ P88

（11）教育活動の再開見通し報告（例）・・・・・・・・・・・・・・・・ P89

（12）防災訓練チェックシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P90

（13）学校防災計画チェックシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P92

（14）避難者名簿（例）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P94

（15）建物被災状況チェックシート・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P95

２　関係法令・通知等集

（1）県教育委員会教育長通知　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　P96

（2）学校保健安全法　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　P97

（3）消防法　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　P99

（4）南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法　　　　P100

（5）水防法 P101

（6）土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律　　P101

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　震度想定「南海トラフの巨大地震モデル検討会報告」(H24年８月)

**緊　急　地　震　速　報**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　津波想定「徳島県津波浸水想定」　　　　　　 (H24年１０月)

教職員・緊急地震速報の内容を校内放送等で教職員，児童生徒等に連絡する。

・教室等の出入り口の確保をする。

・使用中の火気の消火や薬品を回収するなど，危険を回避する。

**・大きな声で的確な指示「頭部の保護，机の下への避難，机の脚を持つ，その場を動かない」**

児童生徒等・頭部を保護する準備（ヘルメット，防災ずきん，座布団等）・机の下にもぐる。

**地震発生（震度６強を想定）**

・大きな声で的確な指示「頭部の保護，机の下への避難，机の脚を持つ，その場を動かない」

・落下物，転倒物，ガラスの飛散等から身を守るよう指示する。

・支援を要する児童生徒等への対応には，十分配慮する。

・まずは安全を確保し，大きな揺れがおさまったら，すぐに避難開始

STEP　1　児童生徒等の安全確保

校内放送・ハンドマイク：

「地震が発生しました。津波の恐れがあります。児童（生徒）の皆さんは先生の指示に従い，

避難場所　　　　　　　　に避難しなさい。」

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 第１波 | | 最大波  （第３波） | |
| 6  分 | 4  ｍ | 37  分 | 8.3  ｍ |

**一次避難場所**　　○

**二次避難場所**　　○

**津波発生**

STEP　2 避　難

・即座に，一次避難場所に上履きのまま，全校避難する。

・大きな声で的確に指示する。「押さない，走らない，しゃべらない，もどらない」

・教職員は落ち着いて，避難誘導，負傷者搬送を行う。・担任は，児童生徒名簿等を携帯する。

・総括班は，津波に関する情報収集が出来るようにラジオ等を持って避難する。

・地元住民等が避難してきたときは，一緒に避難誘導する。

・一次避難場所で危険なときは，二次避難場所へ速やかに移動する。

STEP　3 避難後の児童生徒等の安全確認

・児童生徒等の安否確認をする。

・負傷者の確認と応急処置をする。

・津波は第１波が最大とは限らないので，第２波，第３波に備え避難を継続する。(情報収集する)

STEP　4 避難した後の学校の対応

大津波警報・津波警報が解除になるまでは，避難場所で待機する。解除を確認してから，

学校が津波により使用できない場合，指定避難場所へ移動する。

・緊急を要する児童生徒等の病院への搬送及び保護者への連絡

・児童生徒等の不安に対する対処

・警察，消防，医療機関への連絡

・情報収集：地震の規模と津波の危険性等，二次災害の危険性等の情報把握等

・教育委員会への連絡：児童生徒等及び教職員の安否及び学校内外の被害の状況等

・外部（マスコミ）等及び保護者等への対応（対応窓口の一本化）

学校が使用できる場合は，学校へ移動。

・上記に加え，校舎等の被害状況の把握及び危険箇所の立ち入り禁止等の措置

・学校が避難所となった場合，避難所運営支援

STEP　5 保護者へ児童生徒の引き渡し

保護者へ以下の３点を連絡（電話，電子メール，学校のホームページ，地域の有線放送等）

①児童生徒等は全員無事，　　　　　　　　へ避難し待機中

②大津波警報・津波警報が解除になるまで，児童生徒等は待機させる。

③解除後，下校させるので迎えにきて下さい。（危険な場合は無理をしないこと）

１　地震・津波が発生した場合の避難場所およびその判断基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 判断基準 | 避難場所と避難経路と学校災害対策本部設置場所 |
| 一次避難場所 | *○地震発生*  *・震度○○以上*  *○津波発生*  *・大津波警報発表*  *・津波警報発表*  *・津波到達予想時刻が○○分以内* | *避難場所：学校の北出入口より，国道を通り，○○山の○○広場へ*  *集合形態：各学年，各クラスごと*  *災害対策本部：仮　避難所に設置　→　○○市役所に移動する*  *地図*  *地図上に，一次避難場所と避難経路を記入する。* |
| 二次避難場所  ３ | *○地震発生*  *・震度○○以上*  *○津波発生*  *・大津波警報発表*  *・津波到達予想時刻が○○分以上* | *避難場所：第1次避難場所から国道を通り，○○山の○○広場へ*  *集合形態：各学年，各クラスごと*  *災害対策本部：仮　避難所に設置　→　○○市役所に移動する*  *地図*  *地図上に，二次避難場所と避難経路を記入する。* |

*想定を超える自然災害に備え，複数の避難場所や避難経路を設定しておく。*

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　震度想定「南海トラフの巨大地震モデル検討会」

**緊　急　地　震　速　報**

(平成２４年８月)

教職員・緊急地震速報の内容を校内放送等で教職員，児童生徒等に連絡する。

・教室等の出入り口の確保をする。

・使用中の火気の消火や薬品を回収するなど，危険を回避する。

・大きな声で的確な指示「頭部の保護，机の下への避難，机の脚を持つ，その場を動かない」

児童生徒等・頭部を保護する準備をする。（ヘルメット，防災ずきん，座布団等）・机の下にもぐる。

・大きな声で的確な指示「頭部の保護，机の下への避難，机の脚を持つ，その場を動かない」

・落下物，転倒物，ガラスの飛散等から身を守るよう指示する。

・支援を要する児童生徒等への対応には，十分配慮する。

・まずは安全を確保し，大きな揺れがおさまったら，すぐに避難開始

**地震発生（震度６強を想定）**

STEP　1　児童生徒等の安全確保

校内放送・ハンドマイク：

「地震が発生しました。児童（生徒）の皆さんは先生の指示に従い，

避難場所　　　　　　　　に避難しなさい。」

**一次避難場所**　　○

**二次避難場所**　○

STEP　2 避　　　　　　　難

・揺れがおさまったら，一次避難場所に上履きのまま，全校避難する。

・大きな声で的確に指示する。「押さない，走らない，しゃべらない，もどらない」

・教職員は落ち着いて，避難誘導，負傷者搬送を行う。・担任は，児童生徒名簿等を携帯する。

・総括班は，土砂災害等に関する情報収集が出来るようにラジオ等を持って避難する。

・地元住民等が避難してきたときは，一緒に避難誘導する。

・一次避難場所で危険なときは，二次避難場所へ速やかに移動する。

STEP　3 避難後の児童生徒等の安全確認

・児童生徒等の安否確認をする。

・負傷者の確認と応急処置をする。

STEP　4 避難した後の学校の対応

学校が地震により使用できない場合，一次（又は二次）避難場所にて待機する。

・緊急を要する児童生徒等の病院への搬送及び保護者への連絡

・児童生徒等の不安に対する対処

・警察，消防，医療機関への連絡

・情報収集：地震の規模と地域周辺の状況等，二次災害の危険性等の情報把握等

・教育委員会への連絡：児童生徒等及び教職員の安否及び学校内外の被害の状況等

・外部（マスコミ）等及び保護者等への対応（対応窓口の一本化）

学校が使用できる場合は，学校内へ移動する。

・上記に加え，校舎等の被害状況の把握及び危険箇所の立ち入り禁止等の措置

・学校が避難所となった場合，避難所運営支援

STEP　5 保護者へ児童生徒の引き渡し

保護者へ以下の２点を連絡する。（電話，電子メール，学校のホームページ，地域の有線放送等）

①児童生徒等は全員無事，　　　　　　　　へ避難し待機中

②通学路の安全を確認したら，下校させるので迎えに来て下さい。（危険な場合は無理をしない）

１　地震が発生した場合の避難場所およびその判断基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 判断基準 | 避難場所と避難経路と学校災害対策本部設置場所 |
| 一次避難場所 | *○地震発生*  *・震度○○以上* | *避難場所：グランド中心部　　　　　　　　　　災害対策本部：校長室*  *集合形態：クラスごとに1列*  *災害対策本部：校長室*  *地図*  *地図上に，一次避難場所と避難経路を記入する。* |
| 二次避難場所  ３ | *○一次避難場所が使用できない場合* | *避難場所：駐車場（安全を確認した後）*  *集合形態：各学年，各クラスごと*  *災害対策本部：会議室*  *地図*  *地図上に，二次避難場所と避難経路を記入する。* |

*想定を超える自然災害に備え，複数の避難場所や避難経路を設定しておく。*

**防災対策委員会編成表（例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 委 員 名 | 職 名 | 氏 　 　　名 | 備　 　　考 |
| 委　員　長 | 校長 |  |  |
| 副委員長 | 副校長（教頭） |  |  |
| 委　　　員 | 事務長 |  |  |
| 〃 | 教務主任 |  |  |
| 〃 | 特別活動課長 |  |  |
| 〃 | 生徒指導主事 |  |  |
| 〃 | １学年主任 |  |  |
| 〃 | ２学年主任 |  |  |
| 〃 | ３学年主任 |  |  |
| 〃 | ( ４学年主任 ) |  |  |
| 〃 | 養護教諭 |  |  |

※　委員数は各学校の必要に応じて増減させる。

学校災害予防管理組織表（例）

箇所責任者

箇　　所

氏　　名

施設管理責任者

防災対策委員会

*氏名　　○○　○○*

*○○教室*

*○○教室*

*○○教室*

*氏名　　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

*氏　名　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

*○○教室*

*○○教室*

*○○教室*

*氏名　　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

*氏　名　○○　○○*

防災・防火管理者

*副校長・教頭*

*○○　○○*

*氏　名　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

*○○教室*

*○○教室*

*○○教室*

*氏名　　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

*氏　名　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

*○○教室*

*○○教室*

*○○教室*

*氏名　　○○　○○*

*氏名　　○○　○○*

**学校災害対策本部　　配備編成計画（例）**

|  |  |
| --- | --- |
| 学　校　名 | *○○○○　学校* |
| 本部長名（職） | *○○　○○（校　長）* |
| ・職務代行順位  ・代行者名  ・（職） | *１　○○　○○（副校長・教頭・事務長）*  *２　○○　○○（副校長・教頭・事務長）*  *３　○○　○○（副校長・教頭・事務長）* |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 配　備　体　制 | | | | | |
| 第1非常体制 | | 第２非常体制 | | 第３非常体制 | |
| １．県内に震度４の地震が発生したとき  ２．徳島県に津波注意報が発表されたとき  ３．南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表されたとき  ４．その他，大規模な事故等の災害が発　生し，大きな被害が予想されるとき | | １．暴風，大雨，洪水警報等が発表されたとき  ２．台風が本県を通過することが確実とされたとき  ３．河川が警戒水位に近づいたとき  ４．県内に震度５弱または５強の地震が発生したとき  ５．徳島県に津波警報が発表されたとき  ６．大雨特別警報が発表されたとき  ７．南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたとき  ８．南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたとき  ９．その他，大規模な事故等の災害が発生し，大きな被害が発生したとき，または特に大きな被害が予想されると | | 災害対策本部が自動設置されたときは全員配備体制とする。  ●自動設置  １．県内で震度６弱以上の地震が発生したとき  ●判断設置  １．県内で震度５弱または５強の地震が発生したとき  ２．徳島県に大津波警報が発表されたとき  ３．大雨特別警報が発表されたとき  ４.　南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたとき  ５.　南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたとき  ６．県内で相当規模の地震災害が発生し，又は発生のおそれがあるとき  ７．台風等により大規模な災害が発生し，又は発生のおそれがあるとき  ８．その他，多数の人的被害など重大な社会的影響のある大規模な事故等の災害が発生し，又はそのおそれが高まったとき | |
| 氏名（職） | | 氏名（職） | | 氏名（職） | |
| *１２３* | *○○　○○　（校長）*  *○○　○○　（教頭）*  *○○　○○　（教頭）*  *○○　○○　（事務長）* | *１２３* | *○○　○○　（校長）*  *○○　○○　（教頭）*  *○○　○○　（教頭）*  *○○　○○　（事務長）* | *１２３* | *○○　○○　（校長）*  *○○　○○　（教頭）*  *○○　○○　（教頭）*  *○○　○○　（事務長）* |
| *①*  *②*  *③*  *④*  *・* | *○○　○○　（教諭）*  *・*  *・*  *・*  *（勤務時間内）*  直ちに配備につく。  *（勤務時間外）*  １～３の順番で自宅待機し，状況に応じて配備  ①～○の順番で自宅待機し，状況に応じて配備 | *①*  *②*  *③*  *④*  *・* | *○○　○○　（教諭）*  *・*  *・*  *・*  *（勤務時間内）*  直ちに配備につく。  *（勤務時間外）*  （地震の場合）  １→３の順番で１名を配備  その他の職員は，第１非常体制の①→○の順番で，その時の順番に当たっている２名を配備（合計３名）  （その他）  第１非常体制の①→○の順番で自宅待機し，状況に応じて配備 | *①*  *②*  *③*  *④*  *・* | *○○　○○　（教諭）*  *・*  *・*  *・*  *（勤務時間内）*  直ちに配備につく。  *（勤務時間外）*  （自動設置の場合）  全職員  （判断設置の場合）  １→３の順番で１名を配備  その他の職員は，第１非常体制の①→○の順番で，その時の順番に当たっている２名を配備（合計３名） |

※　想定される被害等の状況に応じて，配備する人数は，増減する。

※　時間帯等に応じて，適宜，順番は入れ替える。（女性職員は，深夜にならないように配慮する。）

**自主点検検査チェック票（日常）　（例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施責任者（火元責任者） | | |  | | | 担当区域（場所） | |  | | | | 実施者印 | |  |
| 月日 | 検査項目 | | | | | | | | | | | | | |
| 避難上の障害物又は可燃物の有無 | ガス器具のホース等の老朽，損傷 | | 電気器具の配線等の老朽，損傷 | 火気設備・器具の老朽・損傷 | | 火気設備・器具の設置又は使用状況 | | 各教室の終業時の施錠 | | 終業時の火気確認 | | その他 | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
|  |  |  | |  |  | |  | |  | |  | |  | |
| 注１　チェック欄には，良は○印，不備は×印を，即時補修(改修)したときは△印を記入する。  　２　不備欠陥事項は，防火管理者に報告すること。 | | | | | | | | | | 防火管理者確認 | | |  | |

**自主点検検査チェック票（定期）（例）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 検　査　実　施　項　目　及　び　確　認　箇　所 | | | 検査日 | 結果 | 検査者名 |
| 建物構造等 | 柱，梁，壁，床 | ・コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。 |  |  |  |
| 天井 | ・仕上材に，はく脱・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。 |  |
| 外壁・ひさし・パラペット | ・貼石・タイル・モルタル等の仕上材に，はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上がり等がないか。  ・外壁の耐火構造等に損傷はないか。 |  |
| 窓ガラス | ・窓枠・サッシ等の仕上材に剥落，落下のおそれのある弛み，ガラス等のひび割れはないか。 |  |
| その他 | ・防火区画を構成する壁，天井に損傷はないか。 |  |
| 防火・避難施設 | 避難通路 | ・避難通路の幅員が確保されているか。 |  |  |  |
| 階段 | ・階段室に物品が置かれていないか。 |  |
| 避難口  （出入口） | ・扉の開放方向は避難上支障がないか。  ・避難階段等に通じる出入口，屋外への出入口の幅は適切か，又付近に支障となる物品は置いていないか。 |  |
| 屋上・ベランダ | ・避難に支障となる工作物や物品はないか。 |  |
| 火気使用設備 | ガス | ・元栓は閉めているか。  ・ガス管は老朽化してないか。 |  |  |  |
| 石油ストーブ  ガスストーブ | ・周りに引火物がないか。  ・安全装置は作動するか。 |  |
| 危険物施設等 | ガラス器具 | ・転倒・落下し破損・飛散しないか。 |  |  |  |
| 薬品類  医薬品類 | ・収納戸棚は転倒しないか。  ・混合発火を避けるため，薬品は種類別に収納されているか。  ・自然発火防止の保護液は充分か。  ・危険度の高い薬品の収納方法は万全か。 |  |
| 食器類 | ・転倒・落下し，破損・飛散しないか。 |  |
| 油類 | ・転倒・落下し流出することはないか。 |  |
| 工作機械  工作用具 | ・転倒・落下したりしないか。 |  |
| 電気設備 | 電気器具・設備 | ・タコ足配線による接続はしていないか。  ・コードに亀裂，老化，損傷はないか。  ・許容電流の範囲内で適正に使用しているか。  ・変電設備は，有資格者が定期に検査しているか。 |  |  |  |
| その他 | ﾛｯｶｰ・整理棚 | ・倒れたり，移動したりしないか。 |  |  |  |
| テレビ  コンピュータ | ・転倒，落下，移動したりしないか。 |  |
| 照明器具 | ・落下したりしないか。 |  |
| ｻｯｶｰｺﾞｰﾙ等 | ・転倒したりしないか。 |  |
| ブロック塀等 | ・破損，転倒等しないか。 |  |
| 注１　チェック欄には，良は○印，不備は×印を，即時補修(改修)したときは△印を記入する。  　２　不備欠陥事項は，防火管理者に報告すること。 | | | 防火管理者確認 | |  |

※　その他，学校の置かれた状況に応じて予防点検項目を定める。

**アクションカード「学級担任」（例）**

担当者ごとのアクションカードを作成するのも，よいでしょう。管理職用・学級担任用・養護教諭用・事務職員用・児童生徒用等，学校の実情に合わせて個々に作成しましょう。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 災害時アクションカード　　　　学級担任 | | |
| 人物 | 場所 | 役割分担 |
| *学級担任* | *学級教室* | *児童生徒等の避難誘導・安全確保* |
| STEP　1　児童生徒等の安全確保  *・大きな声で的確な指示「頭部の保護，机の下への避難，机の脚を持つ，その場を動かない」*  **一次避難場所**　　○  **二次避難場所**　　○  STEP　2 避　　　　　　　難  *・大きな声で的確に指示する。「押さない，走らない，しゃべらない，もどらない」*  *・落ち着いて，避難誘導，負傷者搬送を行う。*  *・児童生徒名簿等を携帯する。*  STEP　3 避難後の児童生徒等の安全確認  *・児童生徒等の安否確認をする。*  STEP　4 避難した後の学校の対応  *大津波警報・津波警報が解除になるまでは，避難場所で待機する。解除を確認してから，*  *・緊急を要する児童生徒等の病院への搬送及び保護者への連絡*  *・児童生徒等の不安に対する対処*  STEP　5 保護者への児童生徒等の引き渡し  *保護者へ以下の３点を連絡（電話，電子メール，学校のホームページ，地域の有線放送等）*  *①児童生徒等は全員無事，　　　　　　　　へ避難し待機中*  *②大津波警報・津波警報が解除になるまで，児童生徒等は待機させる。*  *③解除後，下校させるので迎えにきて下さい。（危険な場合は無理をしないこと）* | | |
| 連絡先等　*○○校長　　携帯番号　○○○○○○○○　　メール　　　○○○○○○○○*  *○○教頭　　携帯番号　○○○○○○○○　　メール　　　○○○○○○○○*  *○○学年主任携帯番号　○○○○○○○○　　メール　　　○○○○○○○○*  *○○学校　　電話番号　○○○○○○○○　　代表メール　○○○○○○○○* | | |

様式１　　　　　　　**災　害　発　生　時　緊　急　報　告　用　紙**　　　　この用紙１枚のみFAXしてください

○災害発生時，県教委教育政策課において必要と判断した場合，県立学校・市町村教育委員会へ被害調査を依頼する

○依頼を受けた県立学校は，災害時共有システムに入力する，又はこの様式１で報告する

○依頼を受けた小・中学校は市町村教委へ報告する

○依頼がなくても，大規模災害により学校に被害が発生した場合は，報告すること

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 送付先 | 徳島県教育委員会教育政策課（施設整備課含む）　　宛  徳島県教育委員会教職員課　　　　　　　　　　　 宛  徳島県教育委員会学校教育課（特別支援教育課含む）宛徳島県教育委員会体育学校安全課　　　　　　　　 宛  ○○○○市町村教育委員会　　　　　　　　　　　 宛 | 送付先  ＦＡＸ  番　号 | ０８８－６２１―２８７９  ０８８－６２１―２８８１  ０８８－６２１―２８８２  ０８８－６２１―３１７３  ○○○○○○○○○○○○ |

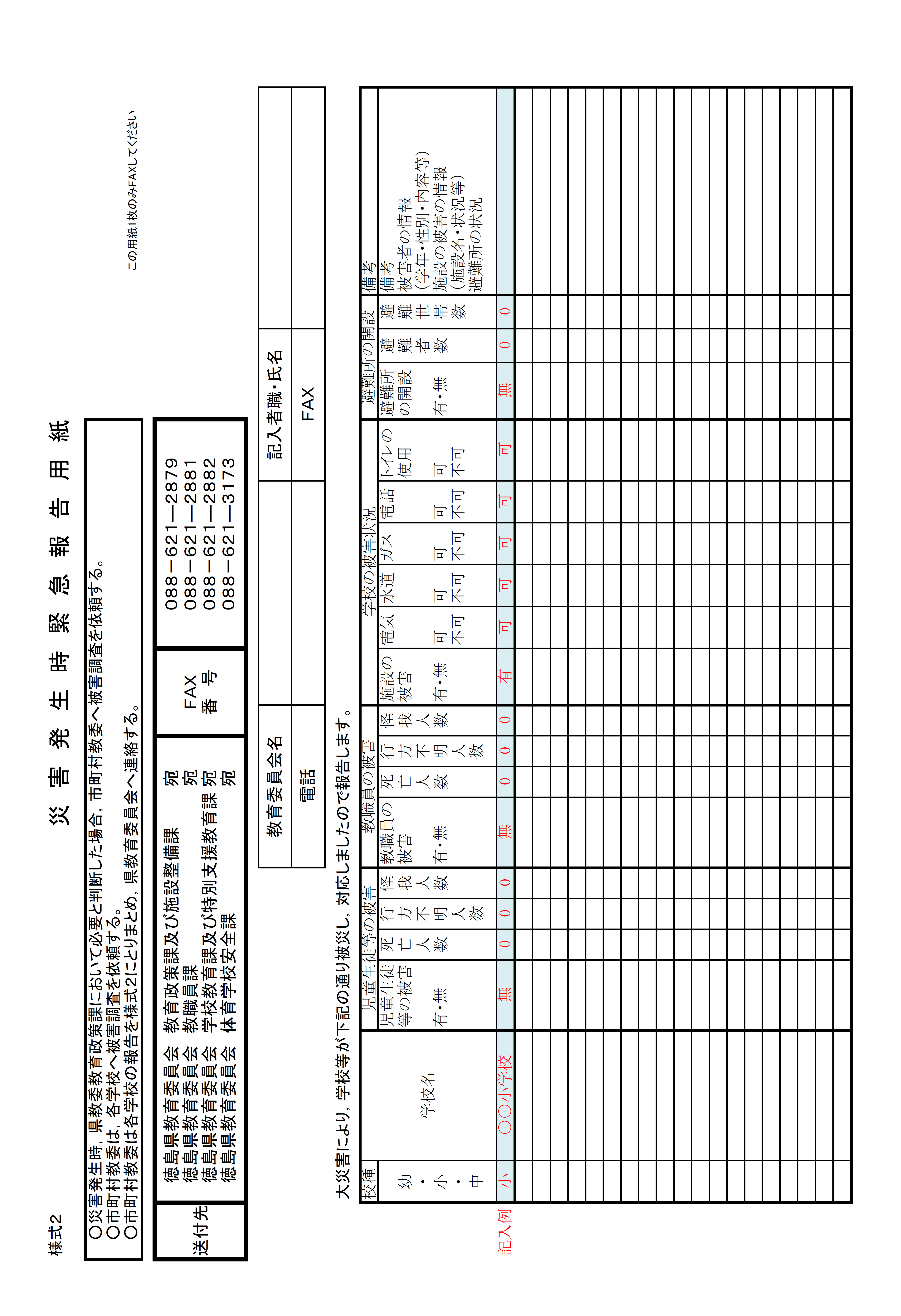
|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 校　名 |  | 記入者職・氏名 |  |
| 電　話 |  | 記 入 日 | 月　　　　日 |
| ＦＡＸ |  | 記入時間 | 時　　　　分 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒等・教職員の被害状況（　あり　・　なし　） | | | | | | |
|  | 在籍数 | 被害なし | 死亡 | 行方不明 | 怪我 | その他 |
| 児童生徒 |  |  |  |  |  |  |
| 教 職 員 |  |  |  |  |  |  |
| 被害者の情　　報 | （学年・性別・状況・内容等を記入） | | | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学校の被害状況（　あり　・　なし　） | | |
| 施設名 | | 被害状況 |
|  | |  |
| ライフラインの被害状況 | | |
| 電気 | 使用　　可・不可 | 被害状況（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 水道 | 使用　　可・不可 | 被害状況（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ガス | 使用　　可・不可 | 被害状況（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 電話 | 使用　　可・不可 | 被害状況（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| トイレの使用の可否 | | |
| トイレの場所 | | 被害状況 |
|  | |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校が避難所となった場合の対応状況（　あり　・　なし　） | | | | |
| 避難所として開放した建物名（教室名） | | 状　　況 | | |
|  | |  | | |
| 避難所に避難している人数 | 人 | | 避難所に避難している世帯数 | 世帯 |

注：人数等が未確定な場合は報告時点で判明した人数を記入し，確定後に再度報告してください。



**学校教育活動の再開見通し報告（例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 校名 |  | 記入者職・氏名 |  |
| 電話 |  | 記入日 | 月　　　　日 |
| FAX |  | 記入時間 | 時　　　　分 |
| 仮登校日 | 月　　　　　　日　　　　　曜日　　　　　　　時　　　　分 | | |
| 登校場所 |  | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 登校可能な児童生徒等の人数 | | | | | | | | |
|  | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | ５年 | ６年 | 備考 | 計 |
| 登校数 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 在籍数 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 勤務可能な教職員等の人数 | | | | | | | | |
|  | 校長 | 副校長・教頭 | 教員 | 養護 | 事務 | 技師等 | その他 | 計 |
| 出勤数 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 在籍数 |  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 不足する教科書の状況 | | | | | |
| 学　　年 | 教科書 | 冊　　数 | 学　　年 | 教科書 | 冊　　数 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 不足する学用品の状況 | | | | | |
| 学用品名 | 数　　量 | 備　考　冊　数 | | | |
|  |  |  | | | |
| 不足する教材・教具の状況 | | | | | |
| 教材・教具名 | 数　　量 | 被害状況・復旧見込み等 | | | |
|  |  |  | | | |
| その他連絡事項（転校希望者数など） | | | | | |
|  | | | | | |

**防災訓練チェックシート［地震・津波避難訓練　編］（例）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 防災訓練チェックシート | | チェック日 | | 月　日 |
| 防災訓練日程 | *※　防災訓練実施計画を作成し，実施後には自己評価を行いましょう。*  *○年○月○日○曜日*  *○○：○○～○○：○○　校内放送にて*  *教頭「地震・津波が発生しました。生徒の皆さんは・・・・」*  *○○：○○～○○：○○　避難*  *○○：○○～○○：○○　生徒の安全確認* | | | |
| 内　　　　容 | *・* | | | |
| そ　の　他 | *・* | | | |
| 防災訓練を実施して，次の項目について自己評価をしてみましょう。  ○：できている　　△：改善の余地あり　×：できていない | | | | |
| 項　　　　　　　　　　　　　　目 | | | チェック | |
| (ア)　地震発生時の安全確保について | | | | |
| ・机の下などに入ったり，頭部を保護したりする行動は，迅速に正しくなされたか。 | | |  | |
| ・教職員は，決められた指示を明確にできたか。 | | |  | |
| ・全校的指示は適切であったか。 | | |  | |
| ・配慮を要する生徒等への対処は適切であったか。 | | |  | |
| (イ)　校舎外への避難について | | | | |
| ・避難経路での混雑等はなかったか。 | | |  | |
| ・避難経路で地震時に避難の妨げとなる危険箇所はなかったか。 | | |  | |
| ・児童生徒等の避難行動に問題はなかったか。 | | |  | |
| ・避難場所や避難経路の選択は適切であったか。 | | |  | |
| (ウ)　校庭での対処 | | | | |
| ・校庭での生徒等の行動に問題はなかったか。 | | |  | |
| ・非常持ち出し物はそろっていたか。 | | |  | |
| ・教職員は予定された役割を遂行できたか。 | | |  | |
| ・児童生徒等の人員確認は迅速にできたか。 | | |  | |
| ・情報の収集のための機材，手段は確保されたか。 | | |  | |
| (エ)　問題点の集約（集点づけ）と改善策 | | | | |
| ・改善すべき問題はどのようなものか。 | | | | |
|  | | | | |
| ・次回の訓練計画をどう修正すればよいか。 | | | | |
|  | | | | |

**防災訓練チェックシート［火災避難訓練　編］（例）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 防災訓練チェックシート | | チェック日 | | 月　日 |
| 防災訓練日程 | *○年○月○日○曜日*  *○○：○○～○○：○○　校内放送にて*  *教頭「火災が発生しました。生徒の皆さんは・・・・」*  *○○：○○～○○：○○　避難*  *○○：○○～○○：○○　生徒の安全確認*  *○○：○○～○○：○○　消火訓練* | | | |
| 内　　　　容 | ・ | | | |
| そ　の　他 | ・ | | | |
| 防災訓練を実施して，次の項目について自己評価をしてみましょう。  ○：できている　　△：改善の余地あり　×：できていない | | | | |
| 項　　　　　　　　　　　　　　目 | | | チェック | |
| (ア)　校舎外への避難について | | | | |
| ・避難経路での混雑等はなかったか。 | | |  | |
| ・避難経路で火災発生時に避難の妨げとなる危険箇所はなかったか。 | | |  | |
| ・児童生徒等の避難行動に問題はなかったか。 | | |  | |
| ・避難場所や避難経路の選択は適切であったか。 | | |  | |
| ・配慮を要する生徒等への対処は適切であったか。 | | |  | |
| (イ)　校庭での対処 | | | | |
| ・校庭での生徒等の行動に問題はなかったか。 | | |  | |
| ・非常持ち出し物はそろっていたか。 | | |  | |
| ・教職員は予定された役割を遂行できたか。 | | |  | |
| ・児童生徒等の人員確認は迅速にできたか。 | | |  | |
| ・情報の収集のための機材，手段は確保されたか。 | | |  | |
| (ウ)　問題点の集約（集点づけ）と改善策 | | | | |
| ・改善すべき問題はどのようなものか。 | | | | |
|  | | | | |
|  | | | | |
| ・次回の訓練計画をどう修正すればよいか。 | | | | |
|  | | | | |
|  | | | | |





**避難者名簿（例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 避　難　者　名　簿   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | ○　○　○地区  市町村の地区別名を囲みの中に記入 |  | 避難エリア |  | |  | 入所日 　　月　　　　日 | 転出日　　　月　　　　日 |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | * ○   整理しやすいように例えば名字の最初の２文字をひらがなで囲みの中に記入 |  | 代表連絡先 | 携帯番号： | |  | E-mail： |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | ふりがな  氏　　　名 | 性別 | 年齢 | 住　　　　所 | 転出問い合わせ対応（注） | | 例 | とくしま　　たろう  徳島　　太郎 | 男 | ○○ | ○○県○○市○○町○○・・・ |  | | １ |  |  |  |  |  | | ２ |  |  |  |  |  | | ３ |  |  |  |  |  | | ４ |  |  |  |  |  | | ５ |  |  |  |  |  | |
| |  | | --- | | 備考欄（家族に，入れ歯やめがねの不備，常時服用している薬，病気などの特別な配慮を必要とする方がいるなど，注意点があったらお書き下さい。） |   注：外部からの転出問い合わせに対する回答について，本人の承認の有無を確認する。なお，転出の際は（ 　　 担当）に連絡するとともに，当該学校に在籍する児童生徒等がいる世帯等については，必ず転出先を確認する。   |  |  | | --- | --- | | 転出先住所 |  | | 電話番号 |  | |

※あらかじめ，市町村の地区別名と地区の整理順コードを市町村より入手しておく。

【建物被災状況チェックシート】　　　　　　　　　　　　　　コンクリート造等建築物

(コンクリートブロック造、レンガ造等にも使用できます。)

○　避難所を開設するにあたって、避難所となる施設の安全性を確認します。

○　鉄骨造建築物については、判断が難しいので、市町村避難所担当職員や施設管理者の到着を

待ってください。

○　一見して危険と判断できる場合は、市町村災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

（手　順）

１．市町村避難所担当職員や施設管理者がいない場合で、早急に施設内への避難が必要な場合、避難者が２人以上で、危険箇所に注意しながら、このチェックシートにより、目視による

点検を行います。

２．質問１から順番に点検を行い、質問１～６（外部の状況）までで、Ｂ又はＣと判断された場合は、建物内に入ることはせず、質問７以降の内部の状況については、点検する必要はありません。

３．危険と認められる場所については、張り紙をするなどして、立入禁止とします。

４．このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、市町村災害対策本部へ連絡し、応急危険度判定士による判定を待ちます。

避 難 所 名

点検実施日時　　　　　年　　月　　日　　時　　分

点検実施者名

次の質問の該当するところに○を付けてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 質　　問 | 該当項目 |
| １　隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性はありますか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　傾いている感じがする  Ｃ　　倒れ込みそうである |
| ２　建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　生じた  Ｃ　　ひどく生じた |
| ３　建物が沈下しましたか？あるいは、建物の周囲の地面が沈下しましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　生じた  Ｃ　　ひどく生じた |
| ４　建物が傾斜しましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　傾斜したような感じがする  Ｃ　　明らかに傾斜した |
| ５　外部の柱や壁にひび割れがありますか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　比較的大きなひび割れが入っている  Ｃ　　大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える |
| ６　外壁タイル・モルタルなどが落下しましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　落下しかけている、落下している  （Ｃの回答はありません） |
| ７　床が壊れましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　少し傾いている、下がっている  Ｃ　　大きく傾斜している、下がっている |
| ８　内部のコンクリートの柱、壁にひび割れがありますか？ | Ａ　　ない又は髪の毛程度のひび割れがある  Ｂ　　比較的大きなひび割れが入っている  Ｃ　　大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える |
| ９　建具やドアが壊れましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　建具・ドアが動かない  Ｃ　　建具・ドアが壊れた |
| 10　天井、照明器具が落下しましたか？ | Ａ　　いいえ  Ｂ　　落下しかけている  Ｃ　　落下した |
| 11　その他、目についた被害を記入してください。  （例：塀が倒れた、水・ガスが漏れている、家具が倒れたなど） | |

（判断基準）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ａ | Ｂ | Ｃ |
|  |  |  |

１．質問１～10を集計します。

２．必要な対応をとります。

　　◎　Ｃの答えが１つでもある場合は、『危険』です。

　　　　施設内へは立ち入らず、市町村災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

　　◎　Ｂの答えが１つでもある場合は、『要注意』です。

　　　　施設内へは立ち入らず、市町村災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。

　　◎　Ａのみの場合

　　　　危険箇所に注意し、施設を使用します。

※　余震により、被害が進んだと思われる場合は、再度、チェックシートで被災状況を点検してください。

※　このチェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであり、市町村災害対策本部へ連絡し、できるだけ早く応急危険度判定士による判定を受けてください。

２　関係法令・通知等集

（１）県教育委員会教育長通知（令和２年１０月１日【教体第909・910号】）

各県立学校長及び市町村教育委員会長あて

|  |
| --- |
| 気象警報等発表時の学校の対応について（通知）  このことについて，近年，台風や豪雨，大雪など過去の経験を超えるような気象災害が，かつてない頻度で発生していることから，更なる児童生徒の安全確保を図るため，次のとおり，学校の対応についてあらためて整理しましたので，各校におかれましては，早期に気象情報等を収集し，適切に対応いただきますようお願いします。  １　警報等発表時における学校の対応について  （１）暴風特別警報，暴風警報，暴風雪特別警報，暴風雪警報が発表された時は，臨時休業と  する。  （２）大雨警報及びその他の警報等が発表された時は，学校長の判断で臨時休業とすることが  できる。  ２　警報等が解除になった場合でも危険な状況の時の対応について  （１）気象状況や周辺の状況等により登校が危険であると学校長が判断した場合は，臨時休業  又は始業時刻の変更，若しくは自宅待機とすることができる。  （２）気象状況や周辺の状況等により登校が危険であると保護者が判断した場合は，学校に連  絡の上，自宅待機とすることができる。  この場合，学校は当該生徒の出席の扱いについて，十分配慮すること。  ３　連絡体制の整備と学校の対応の周知について  児童生徒・保護者等に対し，学校の対応を速やかに連絡できるよう，電話連絡やホームページによる連絡に加え，メール配信による連絡手段を整えておくこと。  また，台風等の気象災害が予測される場合は，事前に上記１，２の対応について周知を図ること。  ４　県教育委員会への報告について  非常変災により臨時休業等の対応をとる場合，学校長は速やかに徳島県教育委員会体育学校安全課へ報告すること。 |

＜県立学校の対応＞

学校は非常変災その他急迫の事情のため「臨時休業」「自宅待機」「授業開始の遅らせ」「授業の打ち切り」等の措置を等の措置を決定した場合，速やかに県教委体育学校安全課へ報告，又は災害時情報共有システムに入力する。措置を行ってから１週間以内に，次の報告様式を提出する。

＜小中学校の対応＞

学校は非常変災その他急迫の事情のため「臨時休業」「自宅待機」「授業開始の遅らせ」「授業の打ち切り」等の措置を等の措置を決定した場合，速やかに市町村教委へ報告，市町村教委は県教委体育学校安全課へ報告する。措置を行ってから１週間以内に，次の報告様式を提出する。

報告様式

|  |
| --- |
| 第　　　　　号  　　 令和　　年　　月　　日  　　　　　　教育委員会教育長　殿  　　　　　　　　　　　　　　　　　　学校名  　　　　　　　　　　 校　長  臨時休業について（報告）  次の事由により，臨時休業をしましたから報告します。  １　期　　　　　間　　令和　　年　　月　　　日（　）  　　　　　　　　　　　　午前・午後　　時　　分　～　午前・午後　　時　　分  ２　学年・学級・児童生徒数  ３　非常変災その他急迫事情の概要  　４　児童生徒への対応  　５　備　　　　　考 |

（２）学校保健安全法

|  |
| --- |
| （学校安全に関する学校の設置者の責務）  第二十六条　学校の設置者は，児童生徒等の安全の確保を図るため，その設置する学校において，事故，加害行為，災害等（以下この条及び第二十九条第三項において「事故等」という。）により児童生徒等に生ずる危険を防止し，及び事故等により児童生徒等に危険又は危害が現に生じた場合（同条第一項及び第二項において「危険等発生時」という。）において適切に対処することができるよう，当該学校の施設及び設備並びに管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。  （学校安全計画の策定等）  第二十七条　学校においては，児童生徒等の安全の確保を図るため，当該学校の施設及び設備の安全点検，児童生徒等に対する通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導，職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し，これを実施しなければならない。  （学校環境の安全の確保）  第二十八条　校長は，当該学校の施設又は設備について，児童生徒等の安全の確保を図る上で支障となる事項があると認めた場合には，遅滞なく，その改善を図るために必要な措置を講じ，又は当該措置を講ずることができないときは，当該学校の設置者に対し，その旨を申し出るものとする。  （危険等発生時対処要領の作成等）  第二十九条　学校においては，児童生徒等の安全の確保を図るため，当該学校の実情に応じて，危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた対処要領（次項において「危険等発生時対処要領」という。）を作成するものとする。  ２　校長は，危険等発生時対処要領の職員に対する周知，訓練の実施その他の危険等発生時において職員が適切に対処するために必要な措置を講ずるものとする。  ３　学校においては，事故等により児童生徒等に危害が生じた場合において，当該児童生徒等及び当該事故等により心理的外傷その他の心身の健康に対する影響を受けた児童生徒等その他の関係者の心身の健康を回復させるため，これらの者に対して必要な支援を行うものとする。この場合においては，第十条の規定を準用する。  （地域の関係機関等との連携）  第三十条　学校においては，児童生徒等の安全の確保を図るため，児童生徒等の保護者との連携を図るとともに，当該学校が所在する地域の実情に応じて，当該地域を管轄する警察署その他の関係機関，地域の安全を確保するための活動を行う団体その他の関係団体，当該地域の住民その他の関係者との連携を図るよう努めるものとする。 |

学校保健安全法施行規則

|  |
| --- |
| （安全点検）  第二十八条　法第二十七条の安全点検は，他の法令に基づくもののほか，毎学期一回以上，児童生徒等が通常使用する施設及び設備の異常の有無について系統的に行わなければならない。  ２　学校においては，必要があるときは，臨時に，安全点検を行うものとする。  （日常における環境の安全）  第二十九条　学校においては，前条の安全点検のほか，設備等について日常的な点検を行い，環境の安全の確保を図らなければならない。 |

＜学校の対応＞

　学校保健安全法に基づき，学校安全計画及び危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル（交通安全・生活安全・災害安全・新たな危機事象の領域））を作成し，教職員に周知し，訓練を実施する。

なお，危機管理マニュアル（災害安全の領域）については，「学校防災計画」がこれに該当する。

○学校安全計画及び学校防災計画の提出先

　県教育委員会体育学校安全課

○学校防災計画の概要（作成例は体育学校安全課HPに掲載）

|  |
| --- |
| 徳島県○○学校防災計画（例）の概要  第１　総　　　　則  第２　防災対策組織について  　　１　防災対策委員会  　　２　学校災害予防管理組織及び防災対策  　　３　学校災害対策本部  第３　各災害時の対応  第４　避難所運営支援  第５　学校教育活動の再開  第６　防災教育及び防災訓練  第７　学校防災計画の児童生徒等及び保護者への周知徹底  第８　地域社会との連携  第９　学校防災計画の継続的改善  ＜　学校防災計画に必要な書類　＞  　　　①　防災対策委員会編成表（表１）  　　　②　学校災害予防管理組織表（表２）  　　　③　学校災害対策本部編成表（表３）  　　　④　自主点検検査チェック票（表４，表５）  　　　⑤　教職員の緊急時連絡体制（表６）  　　　⑥　災害発生時における被害報告連絡体系図  ⑦　各災害に対する対策検討シート  　　　⑧　備蓄物品管理表  　　　⑨　地震・津波への対応（避難経路及び避難場所　等）  　　　⑩　南海トラフ地震臨時情報への対応  　　　⑪　火災への対応（避難経路及び避難場所，防災機器・防火機器等配置図　等）  　　　⑫　風水害（河川氾濫・土砂災害）への対応（避難経路及び避難場所　等）  　　　⑬　学校避難所運営支援計画について  　　　⑭　学校教育活動の再開に向けての計画について  　　　⑮　防災訓練年間計画及び防災教育年間計画 |

注：過去の災害やハザードマップなどの想定を超える危険性をはらんでいる自然災害に備え，複数の避難場所や

避難経路の設定すること。

　：（表６）個人情報に係る内容を含むものは，提出を求めない。

＜関係図＞

　最近の自然災害の発生状況を踏まえ，学校に想定される災害に対応する防災・避難確保計画を作成することが求められている。学校防災計画は，これら計画の基になる。

危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）＜根拠法＞学校保健安全法

＜領域＞・ 交通安全　　・生活安全　　・災害安全　　・新たな危機事象　等

〇消防計画　　　　　　　　　　＜根拠法＞消防法

〇南海トラフ地震防災規程　＜根拠法＞南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法

〇洪水時等の避難確保計画　　　＜根拠法＞水防法

〇土砂災害時等の避難確保計画　＜根拠法＞土砂災害防止法

＜根拠＞

学校防災管理マニュアル

**学校防災計画**

（３）消防法

|  |
| --- |
| 第八条　学校,(省略)その他多数の者が出入し，勤務し，又は居住する防火対象物で政令で定めるものの管理について権原を有する者は，政令で定める資格を有する者のうちから防火管理者を定め，制令で定めるところにより，当該防火対象物について消防計画の作成，当該消防計画に基づく消火，通報及び避難の訓練の実施，消防の用に供する設備，消防用水又は消火活動上必要な施設の点検及び整備，火気の使用又は取扱いに関する監督，避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理並びに収容人員の管理その他防火管理上必要な業務を行なわせなければならない｡  第十七条 学校，(省略)の関係者は，政令で定める消防の用に供する設備，消防用水及び消火活動上必要な施設(以下｢消防用設備等｣という｡)について消火，避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように，政令で定める技術上の基準に従つて，設置し，及び維持しなければならない｡ |

消防法施行規則

|  |
| --- |
| （防火管理に係る消防計画）  第三条　防火管理者は，防火対象物の位置，構造及び設備の状況並びにその使用状況に応じ，次の各号に掲げる区分に従い，おおむね次の各号に掲げる事項について，当該防火対象物の管理について権原を有する者の指示を受けて防火管理に係る消防計画を作成し，別記様式第一号の二の届出書によりその旨を所轄消防長又は消防署長に届け出なければならない。防火管理に係る消防計画を変更するときも，同様とする。  一　令第一条の二第三項第一号に掲げる防火対象物及び同項第二号に掲げる防火対象物  イ　自衛消防の組織に関すること。  ロ　防火対象物についての火災予防上の自主検査に関すること。  ハ　消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び整備に関すること。  ニ　避難通路，避難口，安全区画，防煙区画その他の避難施設の維持管理及びその案内に関すること。  ホ　防火壁，内装その他の防火上の構造の維持管理に関すること。  ヘ　定員の遵守その他収容人員の適正化に関すること。  ト　防火管理上必要な教育に関すること。  チ　消火，通報及び避難の訓練その他防火管理上必要な訓練の定期的な実施に関すること。  リ　火災，地震その他の災害が発生した場合における消火活動，通報連絡及び避難誘導に関すること。  ヌ　防火管理についての消防機関との連絡に関すること。  ル　増築，改築，移転，修繕又は模様替えの工事中の防火対象物における防火管理者又はその補助者の立会いその他火気の使用又は取扱いの監督に関すること。  ヲ　イからルまでに掲げるもののほか，防火対象物における防火管理に関し必要な事項  （防火管理者の選任又は解任の届出）  第三条の二　法第八条第二項の規定による防火管理者の選任又は解任の届出は、別記様式第一号の二の二による届出書によつてしなければならない。  ２　前項の届出書には、選任の届出にあつては、防火管理者の資格を証する書面を添えなければならない。 |

＜学校の対応＞

法に定められた学校は，防火管理者（消防本部等が行う防火管理講習会の課程を修了した者）をおいて，消防計画を作成し，消火，通報及び避難の訓練の実施，消防の用に供する設備，消防用水又は消火活動上必要な施設の点検及び整備、火気の使用又は取扱いに関する監督等を行わせなければならない。防火管理者を選任又は解任したときは、遅滞なく所轄の消防署長に届け出なければならない。

※防火管理者の選任，消防計画の作成・届出を義務づけられているのは，次のとおり。

〇 特定防火対象物（収容人員が30人以上の幼稚園，特別支援学校等）

〇 非特定防火対象物（収容人員が50人以上の小・中・高等学校等）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 内容 | 特定防火対象物 | 非特定防火対象物 |
| 消火訓練 | 消化器や屋内消火栓を使用した初期消火の訓練 | 年間2回以上 | 消防計画に定めた回数 |
| 避難訓練 | 発災を知らせ、避難、誘導及び避難器具の訓練 | 年間2回以上 |
| 通報訓練 | 発災確認後、周知し、消防機関に通報する訓練 | 消防計画に定めた回数 | |

※訓練を行うときは、あらかじめ所轄の消防署への連絡をする。

※収容人員が300人以上の特別支援学校については、防火対象物点検資格者（所定の講習の課程を修了し、免状の交付を受けている者）に定期的（１年に１回）に点検させ、その結果を消防署長に報告しなければならない。

○防火管理者の選任（解任）届及び消防計画の提出先

　所轄の消防署長

○消防計画の概要（作成例は各消防署のHPに掲載）

|  |
| --- |
| １　目的及び適用範囲  ２　防火管理者の権限及び業務  ３　防火管理業務の一部委託  ４　消防用設備等の点検及び報告  ５　火災予防上の自主点検  ６　消防機関への連絡及び報告  ７　防火管理維持台帳の作成及び保管  ８　避難施設及び防火設備の維持管理  ９　放火防止対策  10　工事中の防火管理  11　地震対策  12　防火・防災教育  13　自衛消防訓練  14　自衛消防隊の編成及び任務  15　避難経路図の掲示 |

（４）南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法

|  |
| --- |
| （対策計画）  第七条　推進地域内において次に掲げる施設又は事業で政令で定めるものを管理し，又は運営することとなる者（第五条第一項に規定する者を除き，南海トラフ地震に伴い発生する津波に係る地震防災対策を講ずべき者として基本計画で定める者に限る。）は，あらかじめ，当該施設又は事業ごとに，対策計画を作成しなければならない。  （対策計画の特例）  第八条　前条第一項又は第二項に規定する者が，次に掲げる計画又は規程において，法令の規定に基づき，同条第一項の政令で定める施設又は事業に関し同条第四項に規定する事項について定めたときは，当該事項について定めた部分（次項において「南海トラフ地震防災規程」という。）は，当該施設又は事業に係る対策計画とみなしてこの法律を適用する。 |

ア　南海トラフ地震防災対策計画及び南海トラフ地震防災規程

（ア） 南海トラフ地震防災対策計画とは，南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法第７条第１項の規定に基づき，津波に係る地震防災対策に関し作成を義務付けられた計画をいう。

（イ） 南海トラフ地震防災規程とは，法第８条の規定により，関係法令に基づく防災又は保安に関する計画又は規程（例えば，消防法に基づく消防計画又は予防規程等）に，対策計画に定める事項を定めた場合，当該事項について定めた部分をいう。

〇南海トラフ地震防災対策計画（南海トラフ地震防災規程）の作成義務

津波浸水想定において，水深３０ｃｍ以上の浸水が想定される学校

（収容人員50人以上の小中高等学校及び収容人員30人以上幼稚園及び特別支援学校）

○南海トラフ地震防災対策計画（南海トラフ地震防災規程）の提出先

　所轄の消防署長へ消防計画と一緒に南海トラフ地震防災規程を提出

○南海トラフ地震防災対策計画（南海トラフ地震防災規程）の概要（作成例は徳島県HPに掲載）

|  |
| --- |
| （１）防災体制の確立  （２）情報の収集・伝達  （３）避難　（避難場所及び避難経路）  （４）時間差発生等における避難  南海トラフ地震臨時情報が発表された場合における災害応急対策に係る措置に関する事項  （５）訓練　津波避難訓練の実施回数  （６）教育及び広報　地震防災に関する教育及び広報の内容等  （ア）南海トラフ地震臨時情報の内容及びこれに基づき取られる措置の内容  （イ）南海トラフ地震に伴い発生すると予想される地震動及び津波に関する知識  （ウ）地震及び津波に関する一般的な知識  （エ）南海トラフ地震臨時情報等が出された場合及び  南海トラフ地震が発生した場合に具体的にとるべき行動に関する知識 |

（５）水防法

|  |
| --- |
| (要配慮者利用施設の利用者の避難の確保のための措置に関する計画の作成等)  第十五条の三　市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の所有者又は管理者は，国土交通省令で定めるところにより，当該要配慮者利用施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な訓練その他の措置に関する計画を作成しなければならない。  ２　前項の要配慮者利用施設の所有者又は管理者は，同項の規定による計画を作成したときは，遅滞なく，これを市町村長に報告しなければならない。これを変更したときも，同様とする  ５　第一項の要配慮者利用施設の所有者又は管理者は，同項に規定する計画で定めるところにより，同項の要配慮者利用施設の利用者の洪水時等の円滑かつ迅速な避難の確保のための訓練を行わなければならない。 |

＜学校の対応＞

浸水想定区域内に位置し，市町村地域防災計画において要配慮者利用施設とされた学校等は，洪水時等の避難確保計画の作成・避難訓練の実施が必要。

○避難確保計画の提出先

　市町村の危機管理担当部局

○避難確保計画の作成例（作成例は国土交通省HPに掲載）

|  |
| --- |
| １　計画の目的  ２　計画の報告  ３　計画の適用範囲　施設周辺の避難地図  ４　防災体制  ５　情報収集・伝達  ６　避難誘導  ７　避難の確保を図るための施設の整備  ８　防災教育及び訓練の実施  ９　自衛水防組織の業務に関する事項  10　防災教育及び訓練の年間計画作成例  11　施設利用者緊急連絡先一覧表  12　緊急連絡網  13　外部機関等への緊急連絡先一覧表  14　対応別避難誘導方法一覧表  15　防災体制一覧表（10～15は個人情報等を含むため適切に管理※市町村への提出は不要） |

（６）土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

|  |
| --- |
| (要配慮者利用施設の利用者の避難の確保のための措置に関する計画の作成等)  第八条の二　市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の所有者又は管理者は，国土交通省令で定めるところにより，急傾斜地の崩壊等が発生するおそれがある場合における当該要配慮者利用施設を利用している者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な訓練その他の措置に関する計画を作成しなければならない。  ２　前項の要配慮者利用施設の所有者又は管理者は，同項の規定による計画を作成したときは，遅滞なく，これを市町村長に報告しなければならない。これを変更したときも，同様とする。  ５　第一項の要配慮者利用施設の所有者又は管理者は，同項に規定する計画で定めるところにより，急傾斜地の崩壊等が発生するおそれがある場合における同項の要配慮者利用施設を利用している者の円滑かつ迅速な避難の確保のための訓練を行わなければならない。 |

＜学校の対応＞

土砂災害警戒区域内に位置し，市町村地域防災計画において要配慮者利用施設とされた学校は，土砂災害時等の避難確保計画の作成・避難訓練の実施が必要。

○避難確保計画の提出先

　市町村の危機管理担当部局

○避難確保計画の作成例（作成例は国土交通省HPに掲載）

|  |
| --- |
| １［目的］  ２［防災体制に関する事項］  (1)［各班の任務と組織］  1）各班の任務　2）組織図　3）参集基準　4）連絡網　5）関係機関緊急連絡先  (2)［事前対策］  (3)［情報収集及び伝達］  ３［避難誘導に関する事項］  1）避難誘導等　2)避難基準　3)避難方法　4)避難経路　5)施設周辺や避難経路の点検  6）避難の実施  ４［避難の確保を図るための施設の整備に関する事項］  ５［防災教育及び訓練の実施に関する事項］　　1）防災教育　2) 訓練　3）訓練の実施時期 |

（７）参考文献

|  |
| --- |
| ア　文部科学省  （ア）学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き　　　　　　Ｈ２４．３  （イ）学校における子供の心のケア－サインを見逃さないために－　　　Ｈ２６．３  （ウ）学校の危機管理マニュアル作成の手引き　　　　　　　　　　　　Ｈ３０．２  （エ）「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育　　　　　　　　　　　Ｈ３１．３  文部科学省×学校安全　　<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/index_publications.html> |

|  |
| --- |
| イ　徳島県教育委員会  （ア）学校防災管理マニュアル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｈ　９．３  （イ）学校防災管理マニュアル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｈ１８．３改訂  （ウ）学校防災管理マニュアル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｈ２５．３改訂  （エ）災害時における学校避難所運営支援計画作成の手引き　　　　　　Ｈ２８．２  （オ）大規模災害時における教育活動の再開に向けた学校の対応について　　 　Ｈ２９．２  （カ）「南海トラフ地震臨時情報」発表時の学校における対応方針　　　Ｒ　元．７策定  体育学校安全課　　<http://taiiku.tokushima-ec.ed.jp/> |

|  |
| --- |
| ウ　徳島県  （ア）避難所運営マニュアル作成指針  ～避難所における良好な生活環境の確保に向けて～　　　　　　　　Ｈ２３．３  （イ）避難所運営マニュアル  「新型コロナウイルス感染症対策編」　　　　　　　　　　　　　　Ｒ　２．６  （ウ）過去に例を見ない「複合災害」への備え  ～新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイント～Ｒ　２．９  徳島県　安心とくしま　　<https://anshin.pref.tokushima.jp/docs/2015101400015/> |

学校防災管理マニュアル改訂委員

委　員　長　　 徳島県教育委員会副教育長 　　 　平井　　琢二

委　　　員 　　 徳島県市町村教育委員会教育長会会長 　　松本　　賢治

委　　　員 　　池田高等学校長（徳島県高等学校長協会代表）　林　　日出夫

委　　　員 　 　津田中学校長（徳島県中学校長会代表） 田村　　浩康

委　　　員 　　福井小学校長（徳島県小学校長会代表） 福田　　康治

委　　　員 　 　とくしまゼロ作戦課長 　　　 佐藤　　章仁

委　　　員 　 　教育次長（教育政策課長事務取扱） 　　長町　　哲治

委　　　員 　　施設整備課長 　　　　　　矢田　　孝志

委　　　員 　 　教職員課長 　　　　　　小倉　　基靖

委　　　員 　　学校教育課長 　　　　　　木屋村　浩章

委　　　員 　 　特別支援教育課長 　　　　　猪子　秀太郎

委　　　員 　 　人権教育課長 　　　　　　　濱田　　哲也

委　　　員 　 　体育学校安全課長 　 吉岡　　直彦

アドバイザー　　徳島大学教授　　 　　 　　中野　　　晋

アドバイザー　　鳴門教育大学准教授 　　 　谷村　　千絵

学校防災管理マニュアル

(令和３年３月)

発　　行　　徳 島 県 教 育 委 員 会

〒770-8570　徳島市万代町1丁目1番地

電　　話　 ０８８－６２１－３１６６